

平成22年8月4日

新城市長 穂 積 亮 次 様

新城市市の花・市の木等選定委員会
委員長 瀬野尾 良兵

新城市市の花・市の木等の選定について（答申）

平成22年5月21日に諮問のあった「新城市の市の花・市の木等の選定」について、新城市市の花・市の木等選定委員会で審議の結果、下記のとおり市民アンケート結果を添えて、答申します。

記

1 市の花の候補 「ササユリ」

ササユリは、笹に似た葉が特徴で、香りもよく、初夏の山里に薄桃色の清楚な花を咲かせます。市内各地にあり、誰からも愛されて大切にされていることから、市の花にふさわしいと考えます。

なお、最近数が減少していることもあり、自生地の保護、管理、市民参加による栽培・普及に取り組んでいただきたいと思います。

2 市の木の候補 「ヤマザクラ」

ヤマザクラは、日本を代表する桜で、市内各地に多く自生しています。名木も多く、若葉が出ると同時に薄紅色の花が咲き、春の山を彩ってくれます。

市内には、様々な品種のサクラがありますが、ヤマザクラは、他の種に比べ、病気に強く、寿命が長い種であり、管理が比較的容易にできます。

本市の観光資源としての期待と、将来の発展を象徴するものとして、市の木にふさわしいと考えます。

3 市の鳥の候補 「コノハズク」

コノハズクは、鳳来寺山の声の仏法僧として、全国的に有名です。県の鳥でもあり、深山幽谷に棲む霊鳥として昔から市民に大切にされ、親しまれてきました。

本市の魅力を全国に向けて発信するものとして、市の鳥にふさわしいと考えます。

4 市の石の候補 「松脂岩」

松脂岩は、鳳来寺山を代表する岩石で、松脂のような光沢があることからこの名があります。水分を5%以上含むガラス質の火山岩で、約1500万年前の大規模な火山活動によってできました。鳳来寺山から棚山にかけての分布は国内最大であり、「日本の地質100選」に愛知県で唯一選ばれているなど、新城市が全国に誇れる石です。

5 市のカエルの候補 「モリアオガエル」

モリアオガエルは、市内の山間部に生息し、水田や池などにかかる木の枝先などに、泡状の卵塊を作ります。全身が緑色でこの地方のものは褐色の斑紋があります。樹上の生活に適した大きな吸盤と、愛らしい姿が特徴です。森に生息し、樹上に産卵する変わった生態のカエルで、豊かな森と水の新城を象徴する生きものといえます。

なお、市民アンケートの結果、一般市民の認知度に比較して、小中学生の認知度が低いように感じました。将来の新城市を担う子供たちへの郷土学習を通じ、理解促進を図っていただきたいと思います。

なお、旧市町村で指定されていた花や木、また、市民アンケートの候補となった花、木、鳥については、いずれも市民にとって大変親しみがあり、愛着のあるものです。これらの花や木、鳥についても、市の花・木・鳥等とともに大切に守り育てていただきたいと思います。

(旧市町村で指定されていた花・木)

サクラ、ホソバシャクナゲ、サギソウ、アカマツ、鳳来寺杉、コウヤマキ
(その他)

ヒガンバナ、ミカワバイケイソウ、ヤマユリ、イロハモミジ、ウメ、ヤマボウシ、ウグイス、カワセミ、メジロ、ヤマセミ

以上